

○池浦 義典¹, 島田 満之¹, 赤尾 雄一郎¹, 糸野 幸子¹, 竈浦 政宏¹, 長 展生¹

¹武田薬品工業株式会社

「顧みられない熱帯病」に苦しむ患者さんのために新薬を創出することは、大きな挑戦である。

タケダイズム（誠実：公正・正直・不屈）を根幹に、患者さんを中心に考え、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」というミッションの実現に向けて邁進している弊社では、顧みられない熱帯病に対しても、新薬創出型製薬企業としての強みである創薬研究における知見と膨大な化合物ライブラリーを提供し、新薬創製に貢献すべく、PDP と共同で研究開発を進めている。

今回のシンポジウムでは、DNDi との共同研究で弊社の創薬研究における知識と経験を生かした「内臓リーシュマニア症のためのアミノピラゾール誘導体最適化プロジェクト」や、他の製薬企業とともに、各社に蓄積されたユニークで多様な化合物ライブラリーやヒット化合物最適化技術を駆使し、新たな創薬手法とも捉えることができる、「リーシュマニア症およびシャーガス病に対する新薬の発見を加速・拡大するための創薬ブースタープロジェクト」を実例として紹介する。具体的には、結核、および、「顧みられない熱帯病」に対する研究プロジェクトの概略とともに、グローバルヘルス、特に、開発途上国において顧みられない熱帯病などに苦しむ患者さんのために新薬を創出することを目指した弊社の研究戦略について発表し、異なる強みを持つ機関のパートナーシップによって加速化されている新たなオープンイノベーションについて議論したい。